

第七十回帝國議會
衆議院

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル
法律案外二件委員會議錄(速記)第十五回

會議

昭和十二年三月二十三日(火曜日)午後二時
四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 木暮武太夫君

理事田村 秀吉君 理事佐藤謙之輔君

理事小谷 節夫君 理事片山秀太郎君

牧山 耕藏君 氏家 清君

松田 正一君 尾崎 重美君

宮澤 胤勇君 鈴木康太郎君

藤井 達二君 沖 藏君

松山常次郎君 志賀和多利君

金井 正夫君 塚本 重藏君

田川大吉郎君 伊豆 富人君

三浦 虎雄君

同日委員綾川武治君辭任ニ付其ノ補闕トシ
テ金井正夫君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 兼拓務大臣 結城豐太郎君

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局次長 青木 一男君

外務書記官 森島 守人君

大藏省理財局長 關原 忠三君

大藏省銀行局長 和田 正彦君

大藏省外國爲替管理部長 上山 英三君

大藏書記官 谷口 恒二君

大藏書記官 尾關 將玄君

大藏書記官 木内 四郎君

陸軍少將 後宮 淳君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲
事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關
スル件)(政府提出)

昭和七年法律第十二號中改正法律案(造
幣局資金拂出ニ關スル件)(政府提出)

日本銀行條例中改正法律案(政府提出)

日本銀行參與會法廢止法律案(政府提出)

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大
學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關
涉ニ關スル法律案(政府提出)

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

恩給法中改正法律案(政府提出)

恩給金庫法案(政府提出)

會計検査院法中改正法律案(政府提出)

昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲
公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件
ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)
(政府提出)

昭和七年法律第十二號中改正法律案(造幣局
資金拂出ニ關スル件)(政府提出)

日本銀行條例中改正法律案(政府提出)

日本銀行參與會法廢止法律案(政府提出)

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特
別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關ス
ル法律案(政府提出)

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿
洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退
官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關ス
ル法律案(政府提出)

日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)

昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲
公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出)

神戶商業大學移轉改築費ニ充用シタル金額ノ
補填ニ關スル法律案(政府提出)

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及
南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓
ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公
債發行ニ關スル法律案(政府提出)

日本銀行金買入法中改正法律案(政府提
出)

昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府
提出)

神戶商業大學移轉改築費ニ充用シタル金
額ノ補填ニ關スル法律案(政府提出)

○木暮委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前
會片山委員カラノ御質問ニ對シマシテ未ダ
其詳細ヲ盡サル政府ノ答辯ガ保留シテゴ

ザイマスカラ、此際政府カラ懇切ナル片山君ヲ承服サセル程度ノ御答辯ヲ望ミマス

○森島政府委員 昨日片山サンカラ支那内地ニ於ケル日本人其他ニ於ケル土地ニ關スル訴訟ニ付キマシテ適用法ハドウデアルカト云フ御質問ガアリ、後ニ滿洲ニ於キマシテモ大體右ト同趣旨ノ御尋ガアッタト存ジテ居ルノデアリマス、支那ニ於キマシテハ昨日斷片的ニ數回ニ互ッテ申上ゲマシタ通りデアリマス、大體日本ノ法律ヲ適用ト申シマスカ、或ハ準用ト申シマスルカ、日本ノ法律ニ依ッテ律シ得ベキモノニ付キマシテハ日本ノ法律ヲ準用スルト云フコトニナッテ居リマスルガ、御承知ノ如ク日本ト支那内地トハ諸般ノ點ニ於キマシテ色々事情モ違ッテ居リマスルノデ、是ガ缺陷ノ生ジマス場合ニハ、支那ノ成文法、若クハ慣習法、若クハ慣習ヲ日本ノ法律ト云フ形式ノ下ニ適用シテ居ルノデアリマシテ、此點ニ付キマシテハ滿洲ニ於キマシテモ同様デゴザイマス、例ヘバ滿洲ニ於テ例ヲ取リマスルト、昨年課稅權ヲ滿洲ニ讓渡致シマシタ結果トシマシテ、日本人モ土地ノ所有權ヲ所有シ得ルコトニナッタノデアリマス、隨ヒマシテ從來商租權ノ名ノ下ニ享有シテ居リマシタル土地ニ關スル權利ハ其性質ニ依リマシテ

土地所有權ニ之ヲ變ヘルト云フコトモアリ得ルノデアリマシテ、是等ノ點ニ付キマシテハ日本ノ規定ヲ全然適用シ得ルト存ジテ居ルノデアリマス、然ルニ滿鐵ノ租借内ニ於キマスル賃借權或ハ開放地ニ於キマスル永租權ト云フ如キモノハ實際ノ結果ニ於キマシテハ土地所有權ト全然同一デアルト申上ゲテモ宜イノデアリマス、日本ノ民法ニハ右ノ如キ權利ガナイノデアリマシテ、是等ハ日本ノ所有權並ミニ取扱ッテ居ルト云フ狀態デアアルノデゴザイマス、右ヲ以テ大體昨日ノ御質問ニ對シテ御了解ヲ得タコトト存ジマス

○片山委員 簡單ニ今ノ御答辯ニ對シテ質問ヲ御許シ願ヒマス、ト申シマスノハ、私ガ昨日御伺シマシタノハ、日本人同士ノ間ノ問題モ無論含ンデ居リマスルケレドモ、日本人ト滿洲國又ハ中華民國ノ人トノ間ノ關係ガドウデアルカト云フコトヲ殊更ニ終ヒニ御注意ヲ詳シク申上ゲテ、其御方針デ御調ヲ願ヒタイ、斯ウ申シテ置キマシタガ、ソレニ對スル御答辯ハ今アリマセヌ

○森島政府委員 御承知ノ如ク支那ニ於キマスル裁判ハ被告主義ニ依ッテ居リマスルガ故ニ、若シ其主義ニ依リマシテ日本ノ裁判所ニ繫屬致シマスル場合デモ、支那人ト

ノ間ニ於キマシテハ支那ノ成文法乃至ハ慣習法或ハ慣習ヲ適用スルコトニナッテ居リマス

○片山委員 其慣習ノコトヲ詰リ御尋ラジタノデアリマス、ソレデ對滿事務局ノ方ノ話デハ、滿洲ニ於ケル物權ノ得喪變更ニ付テハ少しモ規定上不便ハナイ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、不便ガナイト云フノハドウ云フ意味デアアルノカ、其意味ガ私ニハ分ラナイ、ソコデ如何ナル法規ヲ適用シ、如何ナル運用ヲナシテ不便ガナイト云フノデアリマスカト云フコトヲ詳シク聽返シマシタケレドモ、ソレニ對スル満足ナ御答辯ガナカッタ、其點ヲ伺ハヌト分ラナイコトニナリマス

○森島政府委員 只今御尋ノ通り、現在ニ於キマシテハ日本ノ法律ノ下ニ於キマスルヤウニ極メテ圓滑ニハ行キ兼ネルノデアリマス、永租權トカ滿鐵附屬地内ニ於キマスル賃借權、是等ハ日本ノ所有權同様ニ取扱フコトハ出來ナイノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ抵當ニ入レルトカ何トカ云フ場合ニ於キマシテモ、賣渡抵當デアルトカ白紙委任狀ヲ附ケテ處分スルトカ云フヤウナ權宜ナ方法ヲ執ッテ實際上雙方ニ不便ガナイヤウニ取計ッテ居ルノデアリマス

○片山委員 サウ云フ風ニ昨日カラ御分リニナレバ問題ハ早ク解決シテ居ッタノデアリマス、私ノ間ハントスル所ハ、治外法權ヲ撤廢シテ滿洲ノ裁判所ニ悉ク日本人及ビ滿洲人ガ同等ノ資格ニ於テ呼出サレタ場合ニ於キマシテ、同じ法廷デ何等ノ差別モナク公平ナル裁判ヲ受クル時ニ於キマシテ、法ノ違フガ爲ニ即チ法律ガ日本ト著シク異ナッテ居ルガ爲ニ不便ヲ受ケハシナイカ、斯ウ云フコトヲ述ベテ御尋シタノデアリマス、ソレニ對スル御答辯ガナカッタコトハ明ナ事實デアリマスルガ、其點ニ付テハ今アナタカラモマダ御答辯ガナイ、治外法權ヲ撤廢シタル後ニ於テ滿洲ノ裁判所デ滿洲ノ慣習ニ依ッテ裁判サレル場合ニ、日本人ハ不便ヲ受ケナイカ、斯ウ云フ問題ナノデアリマス

○森島政府委員 滿洲ニ於キマスル治外法權ガ何時撤廢ニナルカト云フコトハ決定シテ居ナイノデアリマス、只今提出ニナッテ居リマスル法案ハ行政警察ノ移讓、即チ一部ノ治外法權ト滿鐵ノ附屬地ノ行政權ノ移讓ニ關シテアリマス、若シ治外法權ノ撤廢後ニ於キマシテモ萬全ヲ期スルガ爲ニ、昨日青木サンカラ御答辯ノ通り、滿洲當局ニ於キマシテハ法律ノ完備、其他ノ制度ノ

完備ニ鋭意努力致シテ居ルノデアリマス、法律ノ制定ニ當リマシテハ、恐ラク私ノ考ヲ以テシマスレバ、日本ノ法典ニ加フルニ滿洲ノ法律ヲ參酌シテ、同時ニ慣習法ヲ採リ容レテ雙方ニ便宜ナモノガ出來ルガラウト存ジテ居ルノデアリマス

○片山委員 只今ノ御話デハ私ガ問題ト懸離レタ質問ヲシタヤウニ言ハレマシタガ、私ハ質問ノ冒頭ニ於キマシテ、治外法權ニ關スル問題ハ長イ間ノ問題デアル、之ニ付テハ、滿洲バカリデハナク、南支那方面ニ於ケル、狀態ヲモ併セテ承リタイト云フコトカラ出發シテ居リマス、デアリマスルカラ今アナタガ此問題ヲ此處デ制限サレルト云フコトハ私ハ謂ハレガナイコト、思ヒマス、今私ノ言フヤウナ質問ノ範圍内ニ於テ此問題ヲ私ハ取扱ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其御積リデ御答辯ヲ願ヒマス

○森島政府委員 私昨日當初ヨリ委員會ノ議場ニ出席シテ居リマセヌ、又甚ダ相濟ミマセヌケレドモ速記録モ其分ハ讀ンデ居リマセヌノデ、私ノ昨日御質問ヲ受ケマシタ範圍内デ御答辯申上ゲタノデアリマス、其點ハ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○片山委員 最後ニ一言御尋致シマス、詰リ私ハサウ云フ意味デ御質問ヲ申上ゲタノ

デアリマシテ、結局此問題ハソコマデ進ンデ考ヘテ見ネバナラヌモノデアルト思ヒマス、何時出來ルカト云フコトハ知りマセヌガ、此問題ハ進ンデ研鑽ヲセネバナラヌ問題ダト思ヒマス、斯様ニ考ヘテ居ルノデニ對スル準備ハアルカ、斯ウ云フコトヲ御尋シタ、所ガ其準備ニ對スル満足ナ御答ガナカッタノデ、ツイ話ガ二日ニ互ル様ニナリマシテ今日マデ引續イダ譯デアリマスルガ、大凡分リマシタ、私ハ他ノ案ノ審議ノ妨ゲニナルコトヲ虞レマシテ、質問ヲ一應此處デ打切ッテ置キマスガ、更ニ機會ヲ更メマシテ詳シイ事ヲ質問スルコトニ致シタイト存ジマス

○森島政府委員 昨日小谷サンカラ御質問ニナリマシテ、御答ノ濟ンデ居ナイ點ガアリマスカラ、此場合ニ申上ゲタイト思ヒマス、御質問ノ點ハ二點ゴザイマス、第一ハ當初御質問ヲ受ケマシタ時ニ、恩給加算ノ原則的ノ問題ト拜承致シマシタ爲ニ、御満足ナ御答辯ガ出來ナカッタト存ジテ居ルノデアリマス、昨日御讀上ニナリマシタ數願書ハ、外務省ニ確實ニ到達シテ居リマシタ、關係方面ニ移牒致シマシテ、成ベク御趣旨ニ副フヤウニ研究ヲ願ッテ居ルノデアリマス、其點ハ御承知ノ通り三ツアルノデアリ

マス、第一ハ在外指定學校教職員ノ國庫納金ハ、恩給法第五十九條ノ但書ニ於テ百分ノ一ト解シ得ル如ク法文ヲ明ニセラレタシト云フ點デゴザイマス、之ニ付キマシテハ昨日小谷サンカラ御話ノ通り、昭和九年ノ春以前ニ於キマシテハ、全然國庫納付金ノ義務ヲ負ウテ居ナカッタ云フ御話デアリマス、事實其以前ニ於キマシテハ、國庫納付金ヲ納メテ居ナカッタノデアリマス、此點ハ關係方面ニ就テ取調ノ結果ニ依リマスルト、法規ノ解釋ニ付キマシテ疑義ガアツタ、其結果事實上納メテ居ナカッタ、然ルニ昭和九年ノ春恩給法ノ改正ニナッタ時ニ、從來ノ解釋ハ誤ッテ居ッタト云フノデ、其改正以後百分ノ二ヲ納メルト云フコトニナッタノデアリマス、此點ニ付キマシテ一二御説明ヲ申上ゲタイノハ、在外指定學校ノ職員ハ百分ノ二ヲ納メテ居ル、然ルニ警察官ハ百分ノ一ヲ納メテ居ル、如何ニモ不公平ノヤウデアルト云フコトデアリマスガ、是ハ從來ハ警察官ハ全然國庫納付金ヲ納メテ居ナカッタノデアリマス、恩給法ノ改正ニ方リマシテ直チニ百分ノ二ヲ納メサセルノハ餘リニ急激ナ變化ダト云フノデ、當時百分ノ一ニ決定シタノダサウデアリマス、ソレカラソレニ關聯シマシテ、内地ノ一般公立學

校ノ職員ガ國庫納付金ハ百分ノ二デゴザイマス、百分ノ一ハ本人ガ納メマス、百分ノ一ハ府縣ガ負擔シテ居ルサウデアリマス、府縣ノ負擔シテ居リマスノハ、恩給ヲ府縣ガ支出シテ居ル關係ニ依ルト云フ譯デアリマス、モウ一ツ之ニ關聯シテ申上ゲタイノハ、恩給法ノ改正案ガ提出セラレテ居リマスサウデアリマス、ソレガ通過致シマス、一般公立學校即チ内地ニ於ケル公立學校ノ職員モ百分ノ二ヲ納メルトニ改正ニナルノデアリマス、若シ右改正ヲ見マスレバ、此點ニ於キマシテハ内地ト外地トニ於テ差別ガナイ結果ニナルト存ジテ居ルノデアリマス、第二ニ在外指定學校教職員モ朝鮮臺灣樺太等ノ教職員ト等シク、恩給年限加算ノ制ヲ設ケラレタイト云フコト、私ハ此御希望ハ全ク御尤ト思フノデアリマス、私モ滿洲等ニ在勤致シマシタ時ニ、警察官ニ付テ同様ナ事實ヲ經驗シテ居リマス、例ヘバ哈爾濱アタリハ冬季ニハ零下三十度ニナリマス、狀況ノ如何ニ依リマシテハ匪賊討伐ニモ度々從事シテ居ルト云フ、極メテヒドイ地方ニ於キマシテモ、小谷サンノ御話ノ青島同様ニ加算制度ガナイノデアリマス、是ハ外務省警察官ニ對シマシテモ餘リニヒドイト云フノデ、吾々カラモ數次恩給局ニ

改正ヲ要求シタコトガアルノデアリマスガ、遺憾ナガラ今日マデ實現ニ至ッテ居ラナイノデゴザイマス、ソレト申シマスノハ、一般外務省職員ハ海外ニ居住スルノガ立前デアルト云フ點ニ難點ガアルヤウデアリマス、隨テ一例ヲ奉天ニ取ッテ見マス、同ジ奉天ノ市内デアリマス附屬地ニ住ンデ居リマス者ハ、文化的ノ設備モ附屬地以外ニ比較シマシテ極メテ進ンデ居ル、治安モ維持サレテ居ル、此安全ナ附屬地ニ住ンデ居ル警察官ガ恩給ノ加算ヲ受ケテ居ル、然ルニ附屬地ノ外、奉天總領事館ノ管轄内ト申シマスト五里モ六里モアリマス、匪賊ノ出ルヤウナ所モアリマス、是等ノ奉天總領事館ノ管轄内ニ住ンデ居リマス者ニ付キマシテハ、大體恩給ノ加算ガナイ、極メテ不公平ダト存ズルノデアリマスガ、先程申シマシタヤウナ理由ニ基キマシテ、今日マデ未ダ改正ヲ見テ居ナイノデアリマス、此點ニ付キマシテハ吾々ト致シマシテモ一段ノ努力ヲ要スルモノト存ジテ居リマス、第三ハ在外指定學校教職員モ朝鮮、臺灣、樺太等ノ教職員ト等シク文官トシ、其俸給ハ全額國庫支辨トセラレタシト云フ歎願デアリマス、之ニ付キマシテハ俸給ノ全額國庫負擔ガ内地ノ學校ニ付テ認メラレマシタ以上ハ、外

地ノ學校ニ付テモ同様ノ主義ヲ認メロト云フノハ洵ニ御尤ノ次第ト思フノデアリマスガ、一面ニ於テ考慮シナケレバナラナイノハ、内地ニ於キマシテハ國家ニ税金ヲ納付致シテ居ルノデゴザイマスガ、外地ノ居住者ハ、民會費ヲ納付ハ致シマスケレドモ、國家ニ對シテ税金ヲ納メテ居ナイノデアリマシテ、此點ニ於テ多少事情ヲ異ニスルモノガアルノデハナイカト存ジテ居リマスソレカラモウツ先日資料ノ御要求ガアリマシテ御手許ニ差出シマシタ、昭和二年カラ十一年ニ至リマス十年間ニ於ケル外務省高等官特別任用者調、外務省高等官退官者調ト云フ二ツノ表ニ付キマシテ、昨日小谷サンカラ、高等官一等二等ヲ通ジテ特別任用者ノ中ニ、政務次官及ビ參與官ヲ含ンデ居ラナイカドウカト云フ御尋デゴザイマシタ、私昨日含ンデ居ラヌガラウト御答致シマシタガ、取調ノ結果ニ依リマスルト、政務次官及ビ參與官ヲ含ンデ居リマス、是ハ任用者ノ方ニモ退職者ノ方ニモ同様デゴザイマスカラ、其點御諒承ヲ願ヒタウゴザイマス

○木暮委員長 ソレデハ大臣ガ見エル迄此儘暫時休憩致シマス

午後三時休憩

午後三時七分開議

○木暮委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、昨日ヲ以テ質疑ヲ終了致シマシタ昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外六件ニ付テ採決ニ入りマス、採決ノ方法ハ各案毎ニ採決致シタイト思ヒマス、是ハ一寸申上ゲマスガ、社會大衆黨ノ方ナドノ都合デ各案毎ニヤル必要ガアリマスノデ、各案毎ニヤルコトニ致シマス、先ヅ昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ヲ議題ト致シマシテ討論ニ入りマス――

佐藤君

○佐藤委員 本案ハ種々質疑應答ガ重ネラレタノデアリマスガ、現在ノ狀況カラ見マシテ已ムヲ得ザルモノト認メマシテ原案ノ通り可決セラレンコトヲ希望致シマス、但シ此案ニ付キマシテ種々質疑應答ガ重ネラレテ居ル際ニ、最モ私共衷心ニ堪ヘナカッタト思ハレルコトハ、大藏大臣ノ御答辯中ニ將來ノ見透シガハッキリ付イテ居ルト云フコトヲ聽キ得ナカッタコトデアリマシテ、是ハ頗ル遺憾デアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、政府ハ最善ノ御注意ヲ下サイマシテ、公債ノ消化等ニ付キマシテハ十分ニ

御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○塚本委員 私ハ本案ニ對シマシテハ我が黨方昭和十二年度ノ一般豫算ヲ返上スルノ趣旨ヲ述ベテ居リマスト同様ナ理由ニ依リマシテ反對致シマス

○小谷委員 私ハ今民政黨ノ佐藤君ノ御贊成ノ理由ト同ジ理由ヲ以テ政友會側ヲ代表シテ贊成致シマス

○金井委員 私ノ方デモ政友會並ニ民政黨ノ御趣旨ニ依リマシテ贊成ノ意思ヲ表シマス

○木暮委員長 別ニ御發議ガナケレバ討論ハ終結致シマシタカラ採決ニ入りマス、本案ニ對シテ御反對ノ方ノ起立ヲ求メマス

〔反對者 起立〕

○木暮委員長 一人、御贊成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

〔贊成者 舉手〕

○木暮委員長 本案ハ大多數ヲ以テ政府提出原案通り可決確定致シマシタ

次ハ昭和七年法律第一號中改正法律案ヲ議題ニ致シマシテ、討論ニ入りマス

○佐藤委員 本案ハ滿洲事變ニ關シマスル經費支辨ノ法律案デアリマス、今ノ情勢カラ申シマスルト云フト、本案モ亦已ムヲ得ザルモノデアルト認メマシテ、政府提案ノ通り御可決セラレンコトヲ希望致シマス

○塚本委員 私ハ本案モ前案同様ニ反對致シマス

○小谷委員 私ハ此分ニ付テハ一寸一口言ヒタイコトガアルノデアリマスガ、滿洲ノ

方面ニ行ッテ見マスルト云フト、ドウモ國民ノ膏血ヲ搾ッタ金ガ斯ウ云フ方ニ使ハレテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ、厭ナ氣持ヲ滿洲人及ビ日本人ノ間ニ與ヘテ居ルヤウナ空氣ガアルノデアリマス、現ニマア近頃ハ大分其空氣ガ薄ライデ參リマシタケレドモガ、新京邊リニ參リマスルト、日系官吏ヤ色々ナ人ガ殆ド明治維新ノ志士氣取デ惡イ方面、花柳ノ巷ニ入ッタリナドシテ騒ギ廻ルト云フ惡イ方面バカリガ明治維新ノ志士氣取見タウナ恰好デアルヤウナ空氣ガアリマシテ、ソレガ滿洲人側ニ對シテモ餘リ好イ印象ヲ與ヘテ居ナイト云フヤウナ空氣ガアリマス、私ハ嘗テ滿洲事件ノ起リマシタ當時、此滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲ノ公債發行ニ關スル問題デ本會議デ討論ヲ致シマシタ時分ニ、國民ノ膏血ヲ搾ッタモノデアルト云フコトヲ考ヘテ戴イテ、一錢一厘タリトモ世間ノ疑惑ヲ招クヤウナ金ノ使ヒ方ハシテ實ヒタクナイト云フコトヲ注意シタコトガアリマスガ、ドウモ其後滿洲ニ參リマス度毎ニ、非常ニ厭ナ感ジヲ持

ツコトガゴザイマスルノデ、特ニサウ云フコトヲ注意シテ置キタイト思ヒマス

○木暮委員長 御賛成ナンデゴザイマスネ

○小谷委員 賛成デゴザイマス

○田川委員 私モ此原案ニ賛成スルノラ此場合已ムヲ得ザル當然ダト斯ウ思フノデス、サリナガラ私ガ缺席致シマシタ爲カ、本案ニ對スル質問並ニ説明ガ精シク盡サレタヤウニ記憶致サナイノデス、私トシテハ本案ノ關係ニ於テハ御尋申上ゲ又御説明ヲ伺ハナケレバナラヌ問題ガ幾ツモ殘ッテ居ルヤウナ感ジヲ抱キマス、サリナガラ今日ハ此儘ニシテ原案ニ賛成致シマスガ、尙ホ此委員會ニ於ケル他ノ機會ニ於テ、此問題ニ關スル私モ質問ヲ申上ゲタシ、他ノ同僚諸君モ此問題ニ付テハモット意ヲ盡サレ、滿洲國ニ於ケル日本カラノ公債發行ノ已ムヲ得ザル現状及ビ其將來ニ對スル成行キ、見透シト云フヤウナ問題ヲ國民ヲシテモソット諒解セシメル程度ニ御盡力下サランコトヲ私ハ希望スルノデアリマス、討論ノ場合ニ於テ場所柄ヲ穿キ違ヘテ居ルヤウデアリマスルケレドモ、是ダケノコトヲ留保シテ戴クト云フコトヲ希望シテ置キマシテ、原案ニ賛成致シマス

○金井委員 多少議論ノ餘地モアルヤウデアリマスルガ、此際緊急已ムヲ得ナイモノトシテ、ヤハリ賛成ノ意思ヲ表明致シマス

○木暮委員長 討論ハ終結致シマシタ、御反對ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

〔反對者 舉手〕

○木暮委員長 少數、御賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

〔賛成者 舉手〕

○木暮委員長 多數、本案ハ政府提出原案通り可決確定致シマシタ

次ハ御諮リ致シマスガ、他ノ五案ハ一括シテ採決致スコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○木暮委員長 御異議ガナイト思ヒマス、仍デ一括シテ採決致シマス、即チ昭和七年法律第十二號中改正法律案、日本銀行條例中改正法律案、日本銀行參與會法廢止法律案、東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案、帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案、右五件ヲ一括シテ議題ト致シマシテ討論ニ入りマス

○佐藤委員 只今議題ニ供サレマシタ五件ハ、ソレノ質疑應答ヲ重ネラレマシテ必要ト認メラレタノデアリマス、私ハ五案全部ニ對シテ政府案ニ賛成シタイト思ヒマス

○塚本委員 私ハ此五ツノ案件ニ對シマシテハ、賛否ヲ保留シテ置キマス

○小谷委員 私ハ政友會ヲ代表シテ今ノ民政黨ノ佐藤君ノ賛成セラレマシタ理由ト同ジ理由ニ依ッテ賛成致シマス

○金井委員 此五件ニ對シマシテモ、吾々昭和會ト致シマシテモ賛成ノ意思ヲ表シテ置キマス

○木暮委員長 ソレデハ討論ハ終結致シマシテ、採決ニ入りマス、右五案ニ對シマシテ賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

〔賛成者 舉手〕

○木暮委員長 賛成者多數、只今ノ五案ハ政府原案通り多數ヲ以テ可決確定致シマシタ、以上ヲ以チマシテ質疑ヲ終了致シマシタ分ノ中七件ニ付キマシテハ、政府原案通り可決確定致シタ譯デゴザイマス

續キマシテ昨日政府ヨリ詳細ナル御説明ノゴザイマシタ日本銀行金買入法中改正法律案、昭和十二度一般會計ノ歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案、神戸商業大學移轉改築費ニ充用シタル金額ノ

補填ニ關スル法律案、右本委員會ノ議ニ付セラレテ居リマス三案ニ付テ質疑ヲ繼續致シマス——田川サン、此際先程御希望ニナリマシタ滿洲ニ關スルコトニ付テ……

○田川委員 私ハ滿洲國ノ現狀ニ對スル質問應答ガ盡サレテ居ナカッタウニ感ズルノデアリマス、故ニソレガ若シ私ノ缺席或ハ私ノ速記録ヲ讀ミ落シマシタ爲ノ私ノ理解不足デアリマシタナラバ、是ハ御許ヲ願ヒマス、併シサウデナカッタ、私ノ記憶シテ居ル通りデアリマシタナラバ、今日ノ場合ニ多額ノ公債ヲ其爲ニ發行スル必要ガアルトスレバ其必要ノ事情ヲモット明ニナサレナケレバ、ナラヌト云フヤウニ思フノデアリマス、ソレデスカラ茲ニ明ニシテ戴キタイコトハ、是等ノ公債ヲ必要トスル事情ノ將來ニ對スル見透シハドウデアルカ、ソレガ一點ト、サウシテソレニ關聯シテ滿洲國ニ於ケル現在ノ情勢ハドウデアアルカ、ソレハ公債ヲ財源トシテ計畫セラレル幾多ノ施設ト云フコトノ外ニ、滿洲國ノ現在ノ治安ノ狀況ハドウナッテ居ルカ、帝國ノ軍隊ハ滿洲國ノ匪賊討伐ト云フコトノ爲ニ大分斃レテ居ルヤウデアリマス、ソレ等ノ事情ハ現在ドウナッテ居ッテ、今後ドウナル御見込デアアルカ、サウ云フ問題ヲ明ニシテ

戴クコトガ此場合國民ノ要求デアラウト思フ、ソレ等ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○青木政府委員 只今ノ御質問ノ重點ハ、第一點ハ滿洲事件公債發行ノ將來ノ見透ノ問題デアリマスルガ、是ハ所管ト致シマシテハ實ハ私ノ方ノ關係デナク、寧ろ滿洲事件費其モノ、將來、或ハ財政ノ將來、斯ウ云フコトニ歸著スルノカト思ヒマスルノ

デ、私ヨリモ他ノ適當ノ方カラ御説明申上ゲタ方宜カラウト思ヒマス
第二點ノ滿洲國ノ現狀如何、殊ニ此治安ノ狀態ニ關スル問題ハ、是ハ若干私ノ方ノ所管ニ關聯ガアリマスノデ、私ノ存ジテ居ル範圍ニ於テ申上ゲタイト思ヒマス、滿洲國ハ建國以來大體五年經過致シテ居リマシテ、此五年ノ歲月ニ比較致シマスレバ滿洲國ハ色々ノ方面ニ於テ非常ナ進歩發達ヲ遂ゲテ居ルモノト考ヘテ居リマス、御話ノ治安ノ回復維持ト云フコトハ、建國當初カラ滿洲國ノ當局モ亦日本側ノ吾々關係者モ、先ヅ第一ニ努メナケレバナラスコトデアルト考ヘマシテ、此點ニ重點ヲ置イテ經營シテ參ッタ次第デアリマス、ソレデ例ヘバ匪賊ノ總數等カラ比較シテ見マシテモ、是ハ事變當時カラ見マスルト云フト、今日デハ非常ナ少イモノニナッテ居ルノハ事實デ

アリマス、但シ滿洲ノ匪賊ノ問題ハ總數ハ減リマシタケレドモ、マダノ此交通關係其他カラ奥地ニ至リマスと云フト、其跡ヲ絶タナイト云フ現狀ニアルノデアリマシテ、マダ時ニハ安奉線沿線其他日本ノ權益ニ直接關係アルヤウナ地域ニ於キマシテモ、今以テ時々其災害ヲ被ルト云フヤウナ狀況ニアルノハ頗ル遺憾ト致シテ居リマス、ソレデ我が軍隊ガ此治安ト云フコトニ相當骨ヲ折ラレテ盡サレテ居ルト云フコトハ今日ノ現狀デハ洵ニ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、軍當局ノ側ト致シマシテモ成ベク早く斯ウ云フ事態ヲ改善致シマシテ、今後警察官ノ力ヲ以テ其治安ノ責ヲ完ウシ得ルヤウナ狀態ニ早クシタイモノデアアル、

段ニ此問題モ良クナッテ來マシテ、御心配ノヤウナコトガ一日モ早ク除カレンコトヲ希望致シテ居ルモノデアリマス

○田川委員 滿洲國ニ派遣セラレテ居ル日本ノ軍隊ガ多大ノ努力ヲ拂ッテ、只今御説明サレタヤウナ狀態ニ達スル迄ニ良好ノ成績ヲ擧ゲラレタコトニ對シテハ深ク感謝スルノデアリマス、併ナガラ此事件ノ勃發シタ當時カラノコトヲ願ミマス、昭和十二年ヲ待タズシテ、サウ云フコトハモット良イ結果ニナルモノト政府當局ハ、陸軍當局モ一緒ニ御説明ニナッタ譯デハナイデセウカ、公債發行ハ今日マデコンナ多額ナモノヲ必要トシナイデ、昭和八年位ガ限度デ、昭和九年十年ニナレバ當然モット縮小サレベキモノト大藏當局モ亦陸軍當局モ御説明ニナッタノデヤナイデセウカ、其記憶ガ間違ッテ居ナイトスルト、ソレガ其通りニナラナイデ、斯ノ如ク繼續セラレツ、アル事實ハ、國民ヲシテ政府ニ信頼セヨト結城大藏大臣ノ如キモ繰返シテ仰セニナリマシタガ、自然ニ其信頼ノ度ヲ薄カラシムルヤウナ結果ニナルノデヤナイカ、當局自ラ國民ヲシテ信頼シ兼ねルヤウナ説明或ハ指導ヲ與ヘテ居ラシヤッタト云フヤウナ結果ニナルヤウニモ思フ、過去ノコトハソレダケニ止メマセ

段ニ此問題モ良クナッテ來マシテ、御心配ノヤウナコトガ一日モ早ク除カレンコトヲ希望致シテ居ルモノデアリマス

ウガ、只今ノ御説明ヲ伺ッテ見テ、例ヘバ匪

賊ニ對スル處置ニ付テモ、征匪ノ前途ハ何

時ニナッたら片付クノデアラウカト云フ見

當ガ、或ル時期ヲ限ッテ、御説明下サルコ

トガ出來ルゴザイマセウカ、今日ハ尙ホ

ソレガ出來難イノデアリマスカ、事件ノ勃

發シタ初メニ於テハ、或ル時期ヲ限ッテ、或

ル時期ヲ目標トシテノ説明ヲ當局者カラ與

ヘラレタヤウニ記憶シテ居ル、ソレニ對シ

テ今日ハ如何デアリマセウカ

○青木政府委員 只今ノ問題ニ付キマシテ

モ私ヨリ御答スルコトハ如何カと思ヒマス

ガ、併シ是ハ御參考マデニ申上ゲマス、今

日ノ滿洲事件費公債發行ノ繼續サレテ居ル

所以ハ、日滿議定書ニ基ク滿洲國ノ治安維

持ト云フ問題モ勿論其一部デアラウト思ヒ

マスガ、重點ハ寧ロ日滿議定書ニ規定セラ

レテ居ル共同國防ト云フ方面ニアルノデハ

ナイカト考ヘテ居リマス、治安ノ方ハ先程

御答致シマシタ如ク、段々良クナッテ來テ居

ルノデアリマシテ、唯當初日滿兩國當局ガ

考ヘテ居ッタ程早ク片付カナカッタト云フ點

ハ、事實アラウカト私ハ考ヘテ居リマス、

併シ此方面ハ段々良クナッテ來テ居ル點ハ

齊シク認メル所デアリマス

○田川委員 陸軍ノ方ハオ出デ下サルノデ

スカ

○木暮委員長 今要求致シマシタカラ、ド

ウゾソレ迄一ツ、今ノ續キノ御質問ハ對

滿事務局ノ方デハ如何デスカ

○田川委員 若シ陸軍ノ方ガオ出デ下サル

ノナラバ、今ノ匪賊ノ問題、或ハ國防關係

ノ問題ハ其場合ニ御尋ネシタ方ガ宜イカト

思ヒマス

○木暮委員長 左様デスカ、今大藏大臣モ

御見エニナリマスカラ、一寸此儘デ御待チ

ヲ願ヒマス

「暫ク休憩シタラドウデスカ」ト呼フ

者アリ」

○木暮委員長 ソレデハ四時半マデ休憩ヲ

致シマス

午後三時四十分休憩

午後四時四十八分開議

○片山委員長代理 只今カラ開會致シマス

——木暮武太夫君

○木暮委員 私ハ議事ヲ進行セシムル爲メ

簡單ニ御質問申上ゲマスカラ、ドウゾ大藏

大臣モ簡單ニ要領好ク答辯シテ戴キタイト

思ヒマス、正貨ノ現送ニ付テハ、最近世間

デ色々ノ評判モアリマスシ、又實際正貨現

送ニ對スル世間ノ反對論ト云フモノヲ私共

ハ耳ニ致スノデアリマス、私ハ必シモ正貨

現送ト云フコトノ反對論ニ全部賛成ヲスル

者デハアリマセヌケレドモ、私ノ見ル所デ

ハ現在ノ基準一志二片ト云フモノヲ維持ス

ル爲ニ、正貨ノ現送ガ今後相當ニ行ハレル

ノデハナカラウカト信ジテ居ルノデアリマ

ス、サウ云フ場合ニ一方民間デ正貨現送ニ

對シテ、色々疑ハシイ觀念ヤ危惧ノ議論ガ

アルト云フヤウナコトハ、現内閣ノ御執リ

ニナル國策遂行ノ上カラ見テモ面白カラザ

ル影響ヲ國民ノ心理ニ與ヘルモノデアルト

信ズルノデアリマス、私ハ此反對論ニ贊成

スル者デハ絕對ニアリマセヌ、唯之ニ關シテ

質問ヲ致シマシテ、政府ガ明確ニ自個ノ信

ズル所ヲ此際表明シテ、サウシテ政府ノ行

フ政策ガ國家ノ爲ニ間違ナイモノデアルト

云フコトヲ、明ニシテ置クコトガ必要デア

ルガラウト考ヘマス、其意味デ御質問申上

ゲルノデアリマスカラ、ドウゾ率直ニ明確

ニ、サウハ考ヘナイトカ、自分ハ斯ウ考ヘ

テ居ルノダト云フヤウニ仰シヤッテ戴クコ

トガ必要ダト思ヒマス、ソコデ第一ニ問題

ニナリマスコトハ、正貨ノ現送ト云フコト

ガ「デフレーション」ヲ起シハシナイカト云

フ議論ガアリマス、正貨ヲ現送スレバ、ソ

レダケハ日本銀行ノ正貨ガ少ナルノデア

ルカラ、通貨ノ「デフレーション」的ノ傾向

ヲ惹起スルト云フコトハ理論上當然デアリ

マシテ、又世間デモ「リフレーション」ヲ欲

シテ居ル人達ノ間ニハ懸念ヲ持ッテ居ルノ

デアリマシテ、是ハ一寸質問ヨリモ説明ニ

ナリマスケレドモ、私トシテハ現在金ノ輸

出ガ一般ニ禁止サレテ居ルノダシ、日本銀

行トシテ統制操作ガ巧ク行ケバ、此處ハナ

イノガラウトハ思ヒマスケレドモ、正貨ノ

現送ハ「デフレーション」ヲ起サルヤト云

フ一ツノ懸念ノ議論ガアリマスカラ、今ノ

内閣ハ之ニ對シテドウ云フ風ナ御説明ニ

依ッテ其然ラザル所以ヲ御説明下サルカト

云フコトヲ先ヅ一ツ伺ッテ置キマス

○結城國務大臣 正貨ノ現送ニ付キマシテ

ハ、前カラ「メタリスト」ト申シマスカ、ヤ

ハリ正貨ヲドン場合デモ保持シナクチャ

イカヌ、一朝事ガブッタ場合ニト云フヤウ

ナコトヲ考ヘテ居ル人ガアルノデアリマス

ガ、サウ云フコトカラ正貨ノ現送——是

ハ日本ノ國際貸借ノ決濟ノ上ニ於テ已ムヲ

得ヌノデアリマスガ、喜バヌ人ガアル、隨

テ正貨ヲ積出スト云フコトニナルト、新聞

デモ大キク書キ、世間ニ危惧ノ念ヲ懷ク人

モアルノデアリマスガ、是ハモウ決シテ心

配スルコトハナイ、又正貨ヲ持ッテ居ル高

ニ依ッテ一朝有事ノ際ニ必シモソレノミニ
依ル譯ニ行カヌト思フノデアリマシテ、要
ハ國ノ經濟力、ソレガ強大デアルナラバ、
必シモ正貨ヲ餘計持タズデモ宜シイ、斯ウ
私ナドハ考ヘテ居ル一人デアリマス、隨テ
正貨ヲ現送致シマシタ結果、「デフレージョ
ン」ヲ起スト云フ懸念ガナイカ、斯ウ云フ
コトデアリマスガ、是ハ日本銀行ノ正貨準
備ニナッテ居リマスモノヲ外シテ送ルト云
フコトニナルト、自然ソレダケ通貨ノ收縮
ニナルノデアリマスガ、大體ハ正貨ノ現送
ハ、我國ノ産金サレマスモノ、中カラ送ル
ノデアリマシテ、日本銀行ノ正貨準備ト云
フコトニナッテ、通貨ノ膨脹ヲ來ス以前カ、
或ハ兌換券ノ發行高ガ一應殖エマシタコト
ガ市場ニ響ク程度ニ至ラヌ内ニ送ルノデア
リマスカラ、ソレニ依ッテ「デフレージョ
ン」ヲ起ス氣遣ヒハナカラウト思フノデアリマ
ス

○木暮委員 今御説明ノ中デ次ノ私ガ質問
申上グルコトモ入ッテ居リ マスガ、幸ヒ陸
軍ノ方ガオ居デ、スカラ御伺シタイノデス
ガ、所謂「メタリスト」ト言ヒマスカ、此間
モ松山君ノ御意見モ主トシテ「メタリスト」
ノ意見デ「アッタ」デアリマスガ、戦争ノヤウ
ナ時ノ準備トシテ、國防上正貨ノ留保ト云

フコトハ非常ニ意義ノアルコトダト云フコ
トハ昔カラ言ハレテ居タコトデアリマス
ガ、今ノ御話デ「イザ鎌倉」ト云フ時ニ、ソコ
ニ十億ヤ二十億餘計ニアッテモ少クテモ大
シタ問題デナクテ、要スルニ全體ノ國力ガ
充實シテ居ルコトガ好イノデアアル、恐ラク
大藏大臣ノ御意思ハ、今現送スル金ト云フ
モノハ貿易尻決済デ、其結果ト云フモノハ
軍需工業ヲ中心トシタ日本ノ産業ガ盛ニ
ナッテ、サウシテソレニ必要ナル重要資材ヲ
輸入スル結果ダカラ、詰リ金ニ代ッテ重要
資材ガ入ッテ來ルト云フノデ、何モサウ黃
色イ金ダケヲ抱イテ居ルコトガ好イト云フ
昔流ノ考ノミニ固著スル必要ハナイデハナ
カラウカト云フ御意見ノヤウニ思ヒマス、
私モ從來ニ於ケル戦争ノ時ノ準備トシテ、
國防上正貨留保ト云フコトガ非常ナル意義
ガアルト云フ風ナ意見モアルシ、又所謂正
貨ヲ留保シテ居ルト云フコトニノミ固著シ
テ居ルコトガ無意味デアルト云フ風ナ議論
モアルシ、私共ハ無意味デアルト云フ風ニ
モ考ヘテ居ルノデスガ、丁度幸ニ陸軍當局
ガオ居デ、スカラ、事ハ戦争時ニ於ケル國
防的ノ立場カラ見テ從來ノヤウナ正貨留保
ト云フコトガ極メテ必要デアルカ、又今日
ハ昔ノヤウナサウ云フ「メタリスト」ノ考ノ

ミニ固著シテ宜ロシイ時代デアルカト云
フコトヲ——大藏大臣ノ考ハ只今ノ答デ
ハッキリ致シマシタケレドモ、陸軍當局ノ御
意見ヲ伺ッテ置キマス

○後宮政府委員 大藏當局ノ 現在執ッテ居
ラレル所ノ處置ニ於テ陸軍ニ於テ異存ハ
アリマセヌ

○木暮委員 能ク分リマシタ、大分サウ云
フコトデ政府ガ正貨ヲ現送スルト云フコト
ニ對スル御信念ガアッテ現送シテ居ルコト
ヲハッキリト一般ノ民間ニ知ラシメタコト
ハ有義義ダト思ヒマス、更ニ伺ヒマス、是
ハ正貨現送ノ時機ト云フコトニ付テモ、素
人ノ間デモ亦民間ノ經濟社會デモ色々ノコ
トヲ言ウテ居リマス、故ニ一二ノ點ニ付テ
大藏大臣ハ正貨現送ノ時機ニ付テドウ云フ
考ヲ持ッテ居ルカ御伺シタイ、一ツハ現送
ハ爲替「レート」ガ安定シテ居ル時、又ハ
昂騰期ニアル時行フ方ガ好イノダト云フ考
ヘ方ヲ持ッテ居ル人ガアル、モウ一ツハ現在
ノ爲替管理法ガ、是ハ隨分評判ガ悪いノデ
スケレドモ、現在ノ爲替管理法ガ失敗シテ
ドウモ斯ウモ行カナクナッタ時ニ正貨ハ現送
スベキモノダト云フヤウナ、是ハドウモ贊
成ノ出來ナイ議論デスケレドモ、一部ニハ
サウ云フ議論モアリマス、ソレデ正貨ノ現

送ノ時機ト云フモノニ付テ大藏大臣ハドウ
云フ風ニ御考ニナッテ、サウシテ今後モ御續
ケニナル御考デアリ マスカ、ソレヲ伺ッテ
置キマス

○結城國務大臣 正貨現送ノ時機ニ付キマ
シテハ、爲替相場ノ安定シテ居ル時ガ一番
適當デアラウト思フノデアリマス、爲替相
場ハ申スマデモナク、騰ルコトモ困リ、下
ルコトモ困ルノデアリマシテ、或ル程度ノ
所ニ落付イテ安定スルコトガ一番望マシイ
ノデアリマス、ソレデ國際貸借ノ關係カラ
或ル程度ノモノハ現送シタ 正貨ニ依ッテ支
拂ヲ要スル、斯ウ云フコトデ彼ノ地ニ正貨
ヲ貯藏シテ置キマスノデアリマスルカラ、
愈々其決済ヲシナケレバナラヌ時、詰リ爲替
相場ガ悪クナリマシタ時ニ、コチラノ方カ
ラ送ルト云フヤウナコトヲ致シマセヌデ、
平生ニ於テソレダケノ用意ヲシテ、サウシ
テ其用意アルガ爲ニ、爲替相場ノ安定ガ心
配ナク行ッテ居ルト云フヤウナ時機ヲ選ビ
マシタ方ガ、一番宜カラウカト思フノデア
リマス

○木暮委員 能ク分リマシタ、次ニ御同致
シマスコトハ正貨現送ノ金額ノ限度ト申シ
マスカ、金額ノコトデアリマス、世間デハ
之ニ付テモ色々ノ意見ガアッテ、例ヘバ現送

スル金ノ額ハ一年間ノ我國ニ於ケル產金額ヲ限ツタラドウガラウカト云フヤウナコトモ言ウテ居リマス、是ハ抽象的ニ言ヘバ、貿易尻ノ決濟ノ爲デアアルノダカラ、コンナヤウナ譯ニハ行カヌコトニナルノダカラ、是ハ所謂「メタリスト」ノ意見カモ知レマセヌガ、成ベク金ヲ保有シテ行キタイト云フヤウナ人ノ中ニモアルシ、又サウデナイ人ニモ、斯ウ云フ意見ガ少カラズアルノデハナカラウカト考ヘマスノデ、私ノ考デハドウモ現送額ヲ年產金位トスルト云フヤウナコトデハ、今後不足ガ起ルノデハナカラウカ、サウ云フヤウナ場合ニ、日本ハ將來國防ノ充實ト云フコトガ非常ニ必要ニナツテ來テ、軍需工業ニ要スル資材ノ輸入ガ盛ニナツテ來ル場合ニ、入超ガ相當ニ豫想サレルノデアリマスガ、サウ云フ少額ノ現送デハ度々現送スル必要ガ起ツテ來ルヤウニモ考ヘラレマス、實際問題トシテ、度々少シツツ現送ヲシテ、我國ノ在外資金ノ狀態ノ内兜ヲ見透サレト云フヤウナコトハ、成ベク避ケタ方ガ宜イデヤナカラウカ、サウ云フヤウニ度々少シツツ送ルト云フヤウナコトガ、心理的疑惑ヲ生ジマシテ、却テ爲替ノ弱イ材料ニナル虞ヲ生ジテ、「レート」ヲ低クスル虞ガアルヤウニモ考ヘマスノデアリ

マスガ、此點ニ付テハ、世間デモ、或ハ大體ハ我國年產額以內ニシテハドウカト云フ議論モアルシ、色々ゴザイマスルガ、標準ヲ何處ニスルト云フコトハ、大藏大臣トシテ御言明ハ出來マイト思ヒマスガ、併ナガラ正貨現送ノ金額ト云フモノハ、一體ドウ云フヤウナ心組ニ於テ、御考ヘ置ニナツテ、今度ノ正貨現送ヲ御始メニナツテ、爲替ノ「レート」ヲ維持シテ行カウト云フコトヲ御始メニナツタノカト云フヤウナコトハ、一般ノ人達モ伺ッテ置キタイと思フ所デアリマスカラ、此點ヲ質問致シマス

○結城國務大臣 私ハ健全通貨ト申シマスカ、中央銀行トシテ相當ノ準備ヲ持ッテ居ッテ、兌換券ヲ適當ナル程度ニ於テ發行スルト云フコトヲ只管望ンデ居ル一人デアリマスルカラ、日本銀行ノ準備ニ入ッテ居ルモノヲ更ニ減少シテ、正貨現送ヲ行ハネバナラヌヤウナ狀態ニナルコトハ好マシクナイノデアリマス、併ナガラ國際貸借ノ結果ガ多クナリマスコトニナルト、自然ニサウ云フ所マデ手ヲ著ケナケレバナラヌヤウナコトニナルノデアリマスルカラ、私ハ大體ハ是カラ產出スル產金ノ中カラ、相當ナ程度ヲ送り得ル限度ニ止メタイと思フノデアリマス、ソレニハ一時ノコトハ已ムヲ得マセ

ヌガ、此數年間ノ物資ノ需給狀態ヲ能ク考ヘマシテ、サウシテ成ベク内地ニ於テ、國策トシテ自給狀態ニ置キ得ルモノハ置キヤウナ方法ヲ取り、或ハ海外拂ニナルモノニ付テハ出ルダケ少ク致シマスツカ、同時ニ輸出ノ方ヲ盛ニ致シマシテ、結局ノ入超ト云フモノヲ少クスル、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、或ハ又貿易外ニ於ケル勘定ヲ多クスルコトモ考慮ノ中ニ加ヘマシテ、ソレ等ノ施設ト相俟ッテ、日本ノ國際決濟尻ノ借方ト云フモノヲ出來ルダケ減少セシメタイ、斯ウ云フ風ニ國防ノ充實ニ重點ヲ置ク際ニハ、中々思フヤウニ行カヌトハ思ヒマスルガ、併ナガラ或ル時代ハ已ムヲ得ヌトシテモ、出來ルダケ數年ノ間ニ物資ノ需給ト云フコトヲ研究致シマシテ、サウシテ日本ノ海外ニ拂フ高ヲ少クスル、サウシテ其決濟尻ニ充テル、正貨ト云フモノハ出來得ベクンバ、年々產出スル金額ノ中カラ送ル程度ニ止メテ、日本銀行ノ正貨準備ト云フモノニ手ヲ著ケタクナイ、斯ウ云フ風ナ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○本委員 能ク分リマシタ、ソレカラ茲デ、後ハ簡單ニ申上ゲマスガ、此正貨ノ現送ニ當ッテ、是ハ度々質問ガアッタノデスガ、私トシテモ正貨現送ノ質問ヲシマス、是

ダケハ一寸伺ッテ置キタイノデスガ、正貨ノ現送ヲヤルト云フコトニ當ッテ、直チニ私共ガ頭ニ浮ンデ、直グニ實行シタイコトハ、一ツハ日本銀行ノ保有金ノ平價切下ノ斷行ト、一ツハ切下ニ依ッテノ切下益ノ大部分ヲ爲替平衡資金トシテ海外ニ置キタイ、此二ツナノデアリマス、爲替平衡資金ノコトハ他ノ諸君カラモ色々伺ッタラ、日本ハ國際金融ノ關係ガ英米諸國ト違フカラ、何モソナコトヲスル必要ハナイト云フ御話デスカラ、是ハ伺ヒマセヌ、唯世間デハ大變平價切下ト云フコトニ對シテ、危惧ノ念ヲ有ッテ居リマスノデス、既ニ大藏當局トシテモ、最近ハ大分ハッキリシタ御言明ヲナスッテ、何レハナサネバナラヌモノガラウト云フヤウナ御考ニナツテ來テ居ルコトハ、時勢ノ然ラシメル所トハ言ヘ、一ツノ時代ノ認識ヲ深クシテ進歩デアアルヤウニ私ハ考ヘテ居リマスガ、ソコデ大藏大臣ニ平價切下ニ付テ御伺ヒ致シタイコトハ、隨分平價切下ニ付テハ反對ガアルガラウト思ヒマス、併シ平價切下ト云フコトモ、切下ゲテモ不安ヲ將來ニ或ハ殘サナイノデハナカラウカ、此點ヲ一ツ大藏大臣ニ御伺致シタイノデアリマス、ソレハ現ニ亞米利加ヤ佛蘭西ナドノ主要國家ガ差障ナイ平價ノ切下ヲ斷行致シマ

第六類第七號 一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案外二件委員會議錄 第十五回 昭和十二年三月二十三日

九

シテ、サウシテ現在ノ情勢カラ、金ノ値段ト云フモノガ先ツ上ガルコトハアッテモ下ルコトハナササウダ、下値ハ極メテ少ナイノデハナカラウカト一般ニ考ヘテ居ルコトデ

ツノ大藏大臣トシテ長イ金融界生活ヲオヤリニナツタ御方ノ思想上ノ流れトシテ、ドウ云フ風ニ此點ヲ御考ニナッテ居ルカ、之ヲ一寸伺ッテ見タイ

アリマス、平價切下ニ當ッテモ亞米利加ヤ佛蘭西ノヤッタヤウニ、多少ノ「マージン」ヲ付

○結城國務大臣 此日本ノヤウニ金貨ノ流通シテ居リマセヌ國ニ於テ貨幣ノ對内價值

ケテ、暫定ヲシテ置ケバ、萬一不安ガ醸成サレルヤウナ場合デモ容易ニ之ヲ是正スルト云フコトモ出來ルノデアリマスカラ、サ

ノ上カラ申シマシテ、平價ノ切下ト云フコトハ意味ヲ爲サヌト思フノデアリマス、貨幣ノ對外價值ハ自ラ爲替相場ノ上ニ現ハレ

ウ非常ニ一頃ノ健全通貨論者ノ如クニ、不安ニ思フト云フコトハ如何ナモノカ、將來必ズヤラナケレバナライコトナノデアリ

ヲ測定スルコトガ、内地ニ於キマシテハ今ノヤウニ正貨ノ輸出ヲ禁止シテ居リマス

マスカラ、殊ニ今ノ政治ノ革新トカ或ハ經濟革新ヲ唱ヘル人達ハ、同ジヤウナ考ヲ持ッ

カ、鑄造シノ禁止ヲシテ居リマス状態ニ於テ、又市場ニハ更ニ金貨ト云フモノガ流通

テ居ルグラウト思フ、唯大藏省ト申スト失禮デスカ、從來日本銀行ノ一部ト云フカ、

ノ切下ヲ行フト云フヤウナコトハ、對内價值ノ上カラ申シマス始ド意味ヲ爲サナイ

サウ云フ所ニ居ラル、所謂健全通貨論ノ人

○松山委員 今ノ木暮君ノ御質問ニ依ッテ

私ノ質問ガ十分ニ能ク理解セラレテ居ラヌ

居ルノデアリマス、併ナガラ此次ニ私ノ言

ト云フコトヲ發見シタノト、軍部當局モ居

ハウトスルノハ、併シ外國へ送ラネバナラ

ラレマスカラ、少シク此際私ノ考ヲ述ベサ

必要ハナイ、木暮君ハサウ云フ御考デアル

ヤウニ思ハレル、是ハ意見デアリマスカラ

意見ノ違フ所ハ已ムヲ得マセヌ、併シ私ハ

日本ノヤウナ物資ノ少イ國ハ——是ハ軍部

當局ニモ能ク聽イテ戴キタイガ、國防ノ一

ウノ大事ナ準備トシテ、正貨ヲ積ンデ置ク

必要ガアルト考ヘル、英國ハ御承知ノ通り其

領土内ニ於テ世界ノ產金額ノ五割五分ヲ產

シテ居ル、ダカラ英國ハ別ニ今マデ金ヲ積

ム必要ハナイト思ッテ居ッタ、其英國サヘモ

今日ハ金ヲ積ム政策ヲ執ッテ居ル、今年ノ初

一月頃私ノ計算シタ所デハ、日本ノ圓ニ換

算シテ七十二億圓位ハ正貨ヲ英國ハ積ンデ

居ル筈デアル、領土内カラ澤山出ルカラ今

マデ別ニ金ヲ積ム必要ハナイトシテ居ッタ

英國サヘモ斯様ニ積ンデ居ル、況ヤ日本ノ

ヤウナ國ハ金ヲ積ム必要ガアル、軍部當局

ハ國防ヲ非常ニ心配スルノニ其點ニ於テ注

意ガ足ラヌノデハナイカ、斯ウ私ハ考ヘテ

居ルノデアリマス、併ナガラ此次ニ私ノ言

ハウトスルノハ、併シ外國へ送ラネバナラ

又必要ノアルモノ迄モ止メテ只金ヲ持デバ

宜イト云フ意味デハナイ、日本ノ領土内ニ

ハ產金政策ヲヤレバウンツ金ヲ殖エルノデ

アリマス、伊太利ノ「ムッソリニ」ハ集金政

策ヲ採リ、「エチオピア」戰爭ガ始ルト、一

匁十三圓八十錢ノ金ヲ十六圓八十錢ニ引上

ゲテ居ル、此伊太利ニハ金ヲ產シナイガ、日

本ハ金ヲ產スル、アノ朝鮮ノ產金ノ如キハ

ヤリ方ニ依ッテハウント殖ヤスコトガ出來

ル、ソレニ注意ガ足りナイノデアリマス、例

ヘバ日本デ產スルモノガ海外へ逃避スル、

密輸出サレルヤウナ状態デアル、朝鮮ニ

ハ製鍊所ヲ拵ヘテ居ルガ私ノ調べタ所ニ依

ルト、實際ニ於テ金一匁八圓五十錢位デ鍊

石ガ買上グラレテ居ル、之ヲ國營ニシテ「マ

ージン」ヲ少クスレバ金銀ノ產出ハマダウ

ント殖ヤスコトガ出來ルノデハナイカ、色

色ナ點ニ於テ產金ヲ獎勵スレバウンツ増產

出來ルノニ、ソレヲヤラナイノハ宜シクナ

イデハナイカ、殊ニ國防ニ非常ニ忠實ナ軍

部當局トシテ此點ニ注意セラレナイト云フ

コトハ非常ニ遺憾ノ點デアリマス、斯ウ云フ

コトヲ私ハ申上デマシタ、唯金ヲ積メバ宜

シイ、外國へ送ラナケレバナラヌモノヲ無

理ヲシテモ唯金ヲ積メバ宜イト云フノデハアリマセヌ、ソレハ送ラナケレバナラヌモノハ送ツテ宜シイ、而シテ一方ニモット積極的ニ産金政策ヲ獎勵シナケレバナラヌ、其點ニ於テ不注意デハナイカト云フコトヲ先達申上ゲタノデアリマス、ソレダケノコトヲ申上ゲテ置キマス

○結城國務大臣 私カラ御答シテ置キマスガ、此産金獎勵ニ付テハ相當ニヤツデ、金ノ買上値段ト云フモノハ倫敦ノ金塊相場ヲ土臺トシテ或ル程度ノ費用ヲ差引キマシタノデアリマス、只今日本ノ産金額ノ八割ヲ買上ゲルト云フ方針デヤツテ居リマス、二割ハ値段ノ如何ニ拘ラズヤハリ色々ナ事情カラ外國ノ方ヘ逃ゲルモノト見テ宜カラウ、八割ハ日本銀行ニ買上ゲル、完全ニ八割ノ金ト云フモノハ買上ゲシテ居リマス、値段ヲ無暗ニ高クスルト云フコトハ、世界ノ金相場ニ比例セヌコトニナリマスノデ、ヤハリ土臺ハ倫敦ノ金塊相場ヲ基ニシテ計算シテ居リマスガ、只今ノ所ハ決シテ不當ナ値デハナイヤウデアリマシテ、八割完全ニ集ツテ居ルト私ハ思ッテ居リマス

○松山委員 八割ト云フノハ統計ニ出タモノ、八割ナノデセウ、密輸出サレルモノハ統計ニ上ラナイノデス、其點ガ非常ニ大事ナ

點デアル、朝鮮ニ於テモ以前十一圓五十八錢位デ買上ゲテ居タ當時ニハ、密輸出ヲサレルノヲ官憲ノ手デ押ヘタモノガ三百萬圓位アツタ時代ガアル、是ハドウシテモ其十倍、三千萬圓位ノモノハ密輸出サレルト云フコトガ相當ノ經驗アル人々ノ推測デアル、然ルニ何故今日英國ノ金ノ相場十四圓七十一錢ト云フモノ、九割ヲ以テ買上ゲルノガ適當ナリトスルノカ、假令二割デモ外國ヘ行クモノヲ、集金政策ヲ採ル以上ハ日本ニ來サセルヤウニシナケレバナラヌ、假令二割デモ外國ヘ行クコトヲ防ガナケレバナラヌ、而モソレガアナタ方ノ言フノハ統計ニ出テ居ルモノノデ、其外ニ統計ニ出ナイ

計ニ出テ居ルモノノデ、其外ニ統計ニ出ナイ計ニ出テ居ルモノハ澤山アル、ソレヲ統計ニ現ハレテ居ルモノ、八割ヲ買ツタカラト云ウテ、集金ニ十分注意深イモノトハ見ラレマセヌ、即チ英國ノ金塊相場十四圓七十一錢、ソレニ運賃、保険料、諸掛ヲ加ヘタモノヲ以テ買フノガ適當デアル、ソレヲ加ヘザルノミナラズ九割デ買フト云フ状態ニ於テハ、上海ヘ持ッテ行ケバ英國ノ相場カラ運賃保険料諸掛ヲ減ジタ値デ賣買出來ルカラ、密輸出ガ起ルノハ當然デアル、其密輸出サレタ量ハ統計ノ中ニハ入ッテ居ラヌ、密輸出サレルモノヲ差引イタ

モノ、八割ヲ買フト云フ意味ナノデアリマスカラ、私共ハ決シテ今大藏大臣ノ御述ニナツタコトニ納得ハ致サナイノデアリマス

○松田委員 金ノ現送問題デアリマスガ、斯ウ云フ風ナコトハ——陸軍ノ人モ居ラレ

ニハ原料政メニナツテシマフ、其時ニハセメテ金ノ保有デモ餘計ニシテ置カナケレバ、何ニ依ッテ對抗スルコトガ出來ルカ、金ノ現送ハ、ソレハ私ハ成程金ノ現送ニ反對スル一人デハナイ、ケレドモ雙手ヲ舉ゲテ贊成スル一人デモナイ、其世界ノ大勢カラ考ヘテ、今日ノ金ノ現送ト云フモノハ、其一朝事アツタ時ノコトヲ考ヘラレテ居ルカドウカ、是ハ陸軍及ビ大藏省ノ兩方ノ意見ヲ伺ッテ見タイノデアリマス

先ヅ英國、佛蘭西、米國、ソビエト、是ハ五ニ接近シテ來テ居ル、一方又獨逸、伊太利、日本、是等ハマア大體接近シテ來テ居ル、其接近シテ居ル所ノ國ガ原料國デアルカ、非原料國デアアルカト云ヘバ、英、佛、米、ソビエト、是ハ原料國ト見ナケレバナラヌ、サウスルト日本、伊太利、獨逸ト云フモノハ原料國デハナイ、一朝事有ツタ時ニハ、原料國デナイ所ノ日本ハセメテハ金ノ保有ダケデモ餘計ニシテ置カナケレバ、何ヲ以テ世界ニ對抗スルコトガ出來ルカ、此點ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、當ニ是ハ大藏省バカリデヤナイ、陸軍省ノ方モ是ハ御考ニナラナケレバナラヌコトデヤナイカト

思フ、原料國ガ一本ニナツテ掛ッテ來テ、非原料國ノ獨逸、伊太利、日本ト云フモノガ一本ニナツテ居ルガ、是デハ一朝事有ツタ時ニハ原料政メニナツテシマフ、其時ニハセメテ金ノ保有デモ餘計ニシテ置カナケレバ、何ニ依ッテ對抗スルコトガ出來ルカ、金ノ現送ハ、ソレハ私ハ成程金ノ現送ニ反對スル一人デハナイ、ケレドモ雙手ヲ舉ゲテ贊成スル一人デモナイ、其世界ノ大勢カラ考ヘテ、今日ノ金ノ現送ト云フモノハ、其一朝事アツタ時ノコトヲ考ヘラレテ居ルカドウカ、是ハ陸軍及ビ大藏省ノ兩方ノ意見ヲ伺ッテ見タイノデアリマス

フモノハ、極力輸入スルコトヲ控ヘマシ
テ、サウシテサウ云フ自給政策ヲ行フ爲ニ
必要ナモノヲ、物資、機械其他ノモノヲ輸
入シテ、一日モ早く自給自足ノ域ニ達スル
ヤウニ努メナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ
考ヘテ居リマスノデ、ソレマデノ間國際勘
定ノ決濟ニ或ル程度ノ正貨ノ現送ハ已ムヲ
得ヌト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス
○後宮政府委員 大藏大臣ノ意見ニ全然同
意デアリマス

○松田委員 當座ノ御答トシテハ先ヅ其程
度位ノ御答ガ當然カト思ヒマスガ、結局自
給自足、自給自足ト云フテ見タ所ガ、日本
デハ或ル程度マデハ出來ルカ知ラヌガ、原
料國ガ一團トナツテ組ンデ來ラレタ時ニハ、
是ハ殆ド日本トシテハ何モ彼モ自給自足ト
云フ譯ニハ行キマセヌ、是ハ御言葉ノ如ク
鐵ト力機械ト力云フヤウナモノハ是ハマア
自給自足ハ或ル時期ニナレバ達スルカモ知
レマセヌケレドモ、謂ハミ圖面ヲ擴ゲテ見
テモサウデスガ、アレダケ細イ蚯蚓ノ這ウ
タヤウナ日本ガ、此文化ノ開發ノ程度カラ
言ヒ、又日本ガ手傳ッテ滿洲ノ開發ヲヤッテ
居ルガ、是ダケノ責任ヲ持ッタ日本ガ、物資
ノ自給自足ヲスルト云フコトハ、ソレハ今
ヨリハ自給自足ノ程度ハソレハ高クナルカ

モ知レナイガ、ソナナコトデ 自給自足ヲ
ヤッテ外ノ國カラ輸入セヌデモ 宜イト云フ
時代ハ、恐ラク吾々ノ時代カラ言ヘバ曾孫
ノ時代ニナラナケレバ 出來ル モノデハナ
イ、ソレ等ノ所ヲ先ヅ考慮ニ入レテ、ソレ
デ金ノ現送ヲヤラナケレバナラヌ、尙ホ新
聞ニモアリマスガ、金ノ買上値段ヲ引下ゲ
ルト云フノデ金ノ 値ガ段々下ッテ來テ居リ
マス、是ハ詳シイコトハ申シマセヌガ、コ
ナ譯デアリマスカラ、能ク御注意ヲ願ッ
テ現送ヲヤッテ貰ヒタイ、又現送ト云フモノ
ハソナナニチビ／＼シテ居テモ 左程ノ效
果ハアリマセヌ、不意打ニドットヤッテコソ
初メテ是ハ效果ガアル、甚ダ私ハ今ノ金ノ
現送ノヤリ方ニハ不同意デアリマスケレド
モ、マア併シ是モ質問スレバ果シモナイ話
デアリマスカラ、簡單ニシテ質問ヲ打切り
マス

○片山委員長代理 塚本君、極ク簡單ニ願
ヒマス

○塚本委員 大藏大臣ハ本會議ニ御急ギノ
ヤウデアリマスカラ、極メテ簡單ニ一言ダケ
御伺スルノデアリマス、本會議ニ於キマシ
テモ、豫算總會ニ於キマシテモ、結城大藏大
臣ハ金融資本家ノ番頭デアルトカ何トカ云
フ言葉ヲ隨分聞カサレタ譯デアリマスガ、

サウデナイコトヲ私ハ信ズルノデアリマス
ガ、諄々シイコトハ省キマシテ、此内國債
ト云フモノヲ見マスルト、御提出ニナリマ
シタモノニ依リマシテモ五分利公債ガ二十
二億六千ナナンボアル、ソレカラ四分五厘ノ
公債ガ七億一千五百萬圓アル、兩方合セマ
スルト二十九億八千萬圓カラノ公債ガアル
譯デスガ、之ヲ一ツ最近ノ低金利政策カラ
致シマシテ、三分五厘ノ公債ニ代替ヘラレ
タラドウカト思ヒマス、此兩方ヲ全額代替
ヘマスルナラバ一年間ニハ其利息ダケデモ
四千萬圓カラ國庫ハ支出ヲ少クスルコトガ
出來ルコトハ極メテ明ナ所ナンデスガ、此
今ノ五分利公債竝ニ四分五厘ノ公債ヲ三分
五厘ノ公債ニ代替ヘラレルコトガ必要ダト
思ヒマスカラ、其事ニ對シマスル大藏大臣
ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○結城國務大臣 前段ノ方ハ御答スルマデ
モナカラウト思ヒマスガ、金融資本家ノ番頭

デモアリマセヌ、私ハ 陛下ノ臣民トシテ一
身ヲ捧ゲテ居リマス、五分利公債ノ代替ニ
付キマシテハ始終注意致シテ居リマスガ、サ
ウ簡單ニ是ハ出來ナイノデアリマス、利息
ガソレダケ助カルカラト云フダケデハ行キ
マセヌノデ、色々ナ點ヲ考慮シナクテハナラ
ヌノデアリマスガ、常ニ注意致シテ居リマ

スト云フコトヲ御答申上ゲマス

○片山委員長代理 本日ハ是デ散會致シマ
ス、明日ハ午後二時カラ開會致シマス

午後五時三十分散會